

天然アユを取り戻すために 今できること

会報 鮎毛バリ通信30号 記念シンポジウム 2017

11月23日（木）勤労感謝の日 13:30～16:20

全水道会館 4階 大会議室 JR水道橋駅 東口3分 裏に地図
都営地下鉄水道橋駅 A1出口1分

資料代 500円

主催 日本鮎毛バリ釣り団体協議会

協力 東京鮎毛バリ釣り研究会

天然アユが激減しています。しかし漁業協同組合の努力で増えている河川もあります。放流アユだけに頼らないで天然アユを守り育てる道を、全国の漁協のみなさんが探りはじめました。アユ河川の再生には、なにが大切で、どんな方法が有効なのでしょう。そして釣り人は何が出来るのでしょうか。

基調講演

高橋勇夫氏

日本列島、アユ河川の現状とアユ河川再生の道筋について

「たかはし河川生物調査事務所」
所長。農学博士。

講演

齊藤修二氏。

多摩川のアユの生態と天然アユ汲み上げ放流事業の経緯

東京都水産課主任。

講演

安永勝昭氏。

漁業協同組合が取り組んだ多摩川の天然アユ、保全と育成。
秋川漁業協同組合 組合長。

司会

林家彦いち師匠。落語家。

アユのドブ釣り歴3年。世界の大河を釣り歩いた芸人が、アユの不思議に魅せられる。

第一部 鮎研究者（高橋氏）行政（齊藤氏）漁業協同組合（安永氏）3者による講演で、天然アユを守り育てる具体策、そしてこれからの課題を探ります。

第二部 釣り人代表（林家彦いち師匠）の司会で、参加者の質問に講演者が応える質疑応答タイムです。アユ研究者、行政、漁協、そして釣り人が一同に会して、アユとアユ河川のより良い未来を語り合う、またとない時間にしたいと思います。

連絡先 モバイル：090-3241-5265 山本（午後2～8時）

e-mail: yamamoto7hiro@jcom.home.ne.jp